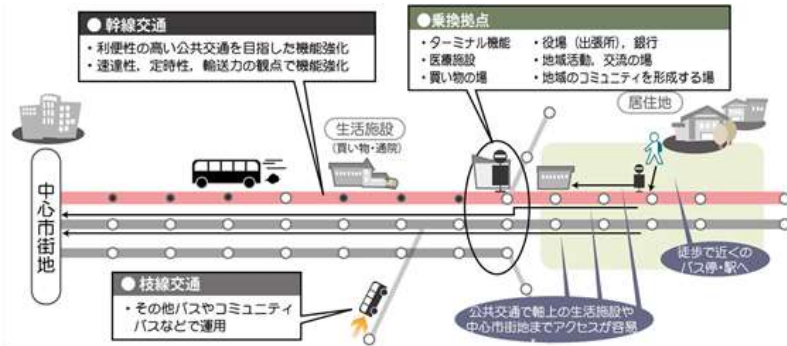


1. 基幹公共交通軸について

◇平成28年3月に策定した「熊本地域公共交通網形成計画」において熊本市中心部と各方面の地域拠点等を結ぶ8つの軸を「基幹公共交通軸」と位置づけ。

◇基幹公共交通軸については、自家用車から公共交通への移動手段の転換を促進するため、定時性、速達性、輸送力を強化する。



2. 昨年度までの主な取り組み成果について

■バスを中心とした基幹公共交通軸の強化策の検討

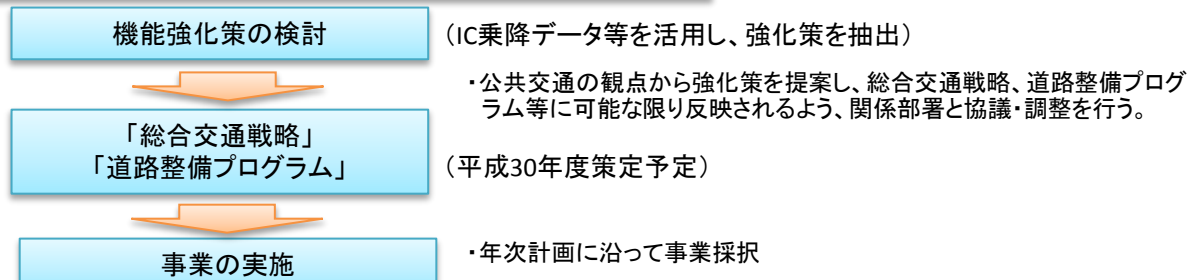
◇バスを中心とした8方面の基幹公共交通軸について、課題と対応策を抽出した。
 ◇対応策について、総合交通戦略や道路整備プログラムといった実行計画に位置づけ、順次事業を実施する。

「嘉島・城南方面」のバス路線状況と強化策



【バス路線状況】	(速達性)	(定時性)	(輸送状況)	【強化策】
平均旅行速度10km/h未満	平均遅れ時間7分～11分	平均乗降者数1～3人/便	交差点改良	バスベイ設置
平均旅行速度20km/h未満	平均遅れ時間5～7分	平均乗降者数3人/便以上	走行環境改善	※バスベイ設置済バス停
ボトルネック箇所 (旅行速度低下の起点)	平均遅れ時間3～5分			

強化策の実現に向けた各種計画への位置づけ



※総合交通戦略: 熊本市圏都市交通マスタープランで提案された施策の実行計画となるもの
 道路整備プログラム: 熊本市域内の幹線道路・生活道路における今後10年間の整備計画をまとめたもの

3. 今年度以降の取り組み

■市電の利便性向上に向けた機能強化策等の検討

◇基幹公共交通軸の一部を構成する市電の利用者数は近年増加傾向にあり、更なる利用促進を図るため、定時性、速達性、輸送力の強化等につながる機能強化策の検討を行う。

◇本部会において、市電の機能強化策等について2カ年にわたり検討を行う。

◇この検討を踏まえ、熊本市では市電の機能強化策を順次実施予定。

検討フロー

【第1回部会】市電の現状と課題並びに他都市の機能強化策等の整理

■定時性・速達性強化施策の例

◇電停改良、軌条交換、公共車両優先システム

■輸送力強化施策の例

◇ダイヤ見直し(折り返し運行等)、低床車両(連結車両)の導入

■その他施策の例

◇他公共交通との結節強化、パーク&ライド・サイクル&ライド
 地域連携(イベントと連携した乗車券等)、電柱建替(道路照明との共架等)



▲電停改良



▲低床、連結車両



▲パーク&ライド、サイクル&ライド

18年度

基幹公共交通部会

【第2回部会】市電の機能強化策の抽出

【第3回部会】市電の機能強化策の検討(その1)

【第4回部会】市電の機能強化策の検討(その2)

19年度以降

熊本市

市電の機能強化策のとりまとめ・順次実施